

就職活動(一般企業) 内定者インタビュー

「どこへ就職するか」ではなく「そこで何をするか」

内定を見事、勝ち取った心理・文化学科の先輩に、将来を見据えた大学生活と就職活動について、振り返ってもらいました。



人間科学部人間発達学科
人間基礎学専攻(心理学コース)
4年生 Nさん

▶ 遠賀信用金庫(総合職)

Q1. 内定した企業の業種について教えてください。

信用金庫という地域経済の発展を優先する金融機関に就職が決まりました。私はその中で渉外や融資等、あらゆる業務を経験する総合職に就く予定です。

Q2. どんな思いを軸(「そこで何をするか」)に就職活動を行いましたか？

- ・地域貢献ができること
- ・完全週休二日制で仕事とプライベートの切り替えができること
- ・働きながら自己成長できる場所

Q3. 就職活動を意識したのはいつ頃ですか？

大学三年生の夏からインターンシップに複数参加し、本格的な動き出しは大学三年生の三月の就活解禁から企業説明会にたくさん応募しました。

また、面接練習と履歴書の添削として九女ルームに通い始めたのも三年生の三月からです。

Q4. 就職先を決定する時に決め手となったポイントを教えてください。

インターンシップに参加した際に銀行とは異なり、地域に寄り添った働き方ができるところに魅力を感じたからです。また、規模が小さなことを利点とし、より親密にお客様と関わりを持つことができるということから自分自身のコミュニケーション能力を活かせると感じたからです。

Q5. 就職活動の反省点、大変だったこと・学んだことを教えてください。

より多くの企業のインターンシップに参加すればよかったと感じています。早い段階で業種を絞ったことで、いざ応募開始が始まった際に企業分析が難しかったからです。

大変だったことは、スケジュール管理です。普段から手帳をつける習慣を身につけておけばよかったです。この就職活動の期間を経て、スケジュール管理を徹底するように意識しています。

Q6. 取り組んでおくことよと思う事についても教えてください。

自己分析から始めることをおすすめします。自己分析を早めに行っておくことで、企業によってはインターンシップ応募時に自己PRが必要だったり履歴書を書いたりするときにもスムーズに進行することができると思います。

Q7.最後に、就職活動を控えている後輩にメッセージをお願いします。

初めての経験ばかりで不安になると思いますが、不安なときこそ誰かに相談をしてみるといいと思います。私自身、四年の三月に面接経験が全くなく不安でした。そのため、キャリア支援課へ相談して、企業の案内や履歴書の添削、九女ルームの予約への後押しなど様々な面でサポートしていただきました。そのおかげで、第一志望の遠賀信用金庫に早期の枠で内定をいただくことができました。自分一人で行動せずに頼ってみることで、不安や緊張は軽減されると思います。挑戦していくことは大変なことですが、皆様が希望通りの進路に進めることを応援しております。

Nさん、お忙しい中、インタビューにご協力いただきありがとうございました！

今回のNさんのインタビューを通して、2023年の就活状況やニーズの実態について伺うことができました。

現在Nさんは、着任準備中とのことで、就職先より資格検定の要請やいろんな宿題が出ているそうです。加えて、卒業論文の作成・提出、アルバイト等も重なり、就職内定後も多忙な日々を送られているようです。

また、Nさんの他に、心理・文化学科では、金融・保険業、不動産業、サービス業、製造業等々において、様々な職種に内定されています。内定者の皆さんからは、大学3年生になるまで自ら就活を意識する機会は少なかったとの声が多くありました。

就活に関する情報収集や自分自身のキャリア選択に漠然と不安を抱えている後輩の方々は多いと思います。今後数十年続くキャリアについて、地域貢献や自己成長等、「どこへ就職する」か、ではなく「そこで何をするか」ということが重要だとするNさんのインタビューを参考に、大学生生活も目一杯楽しみながら、早めの就活に関する情報収集や自分自身のキャリア選択のイメージができれば幸いです。

